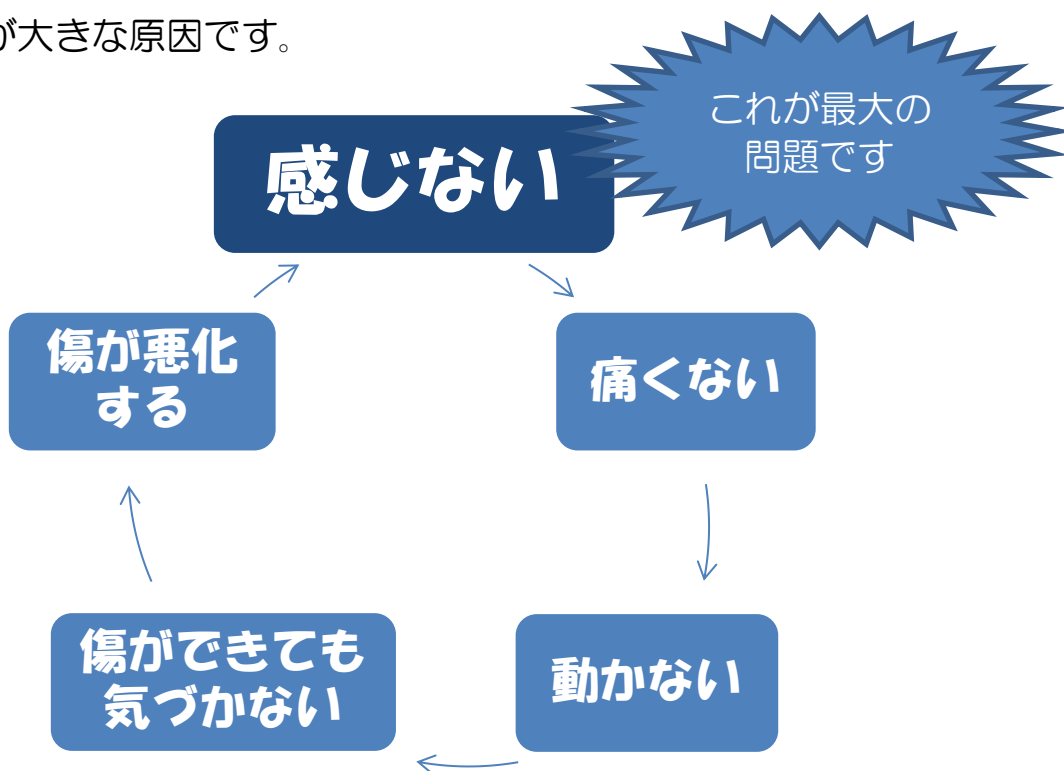


脊髄損傷者のための褥瘡予防パンフレット

担当: 褥瘡対策チーム

褥瘡発生の原因は？

感覚麻痺が大きな原因です。



1. 痛くない

- ▶ 便座・浴室・自動車なども気をつけましょう
- ▶ 硬いところに座るときはクッションを敷くなど細心の注意を払いましょう
- ▶ ベッド、マットレス、車いす、クッションなどは定期的にチェックしましょう

2. 動かない

- ▶ 肺炎、尿路感染などによる体調不良で動けないときも危険です
- ▶ 飲酒後なども気をつけましょう
- ▶ 無意識に除圧動作ができることがベストです

3. 傷ができて気づかない

- ▶ 激突、転落、爪で引っ掛けるなどでも傷ができます
- ▶ 褥瘡ができやすい部位を毎日見て、触って確認する習慣をつけましょう

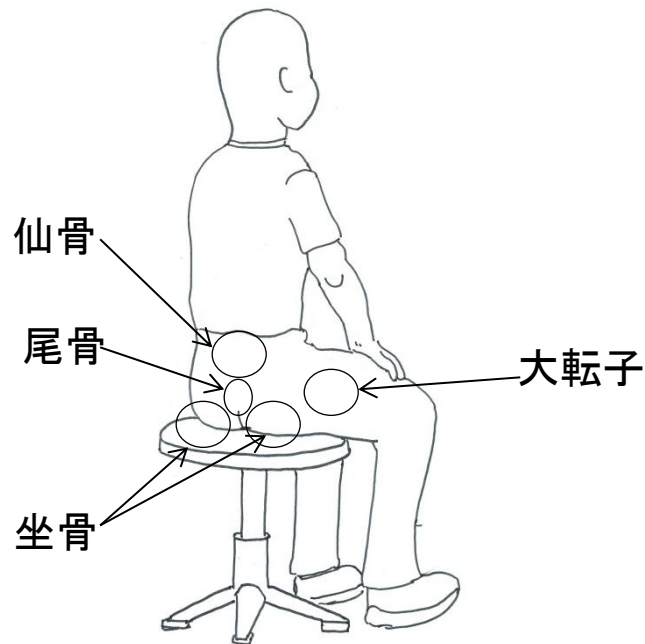
4. 傷が悪化する

- ▶ 傷を発見したらすぐに主治医の受診をしましょう

褥瘡が起きやすい場所は？

当院での過去のデータは

坐骨：約4割、仙骨・尾骨：約3割、大転子：約1割、その他：約2割



予防のポイントは？

良好な皮膚の状態を維持する

- 排泄コントロール
- 入浴
- 皮膚の手入れ

元気に過ごす

- 適切な食事
- 十分な睡眠

同じ姿勢をとり続けない

- ポジショニング
- 除圧動作
- 体位変換

適切な道具を使う

- ベッド
- マットレス
- 車椅子
- クッション
- その他